

おいしさと健康



第108期

報 告 書

[平成24年4月1日 ▶ 平成25年3月31日]



江崎グリコ株式会社



Glicoの理念 おいしいさと健康

おいしいさの感動を、健康の歓びを、
生命の輝きを

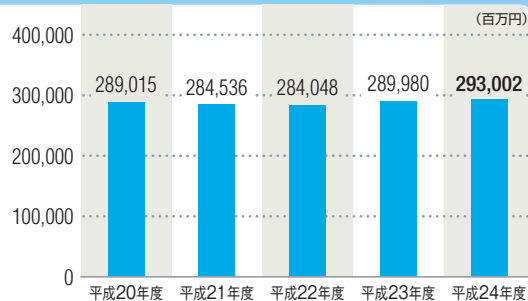
Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
いきいきとした生活づくりに貢献します。

C O N T E N T S

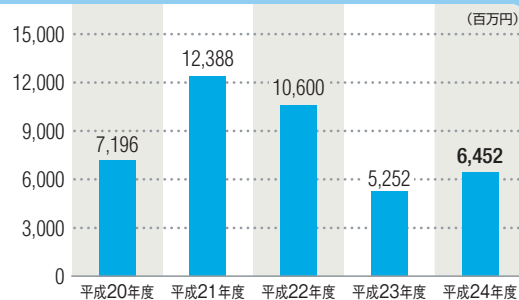
株主の皆様へ	2
セグメント別の概況(連結)	3
連結決算の状況	5
海外事業の実績と計画	7
ニュース	9
グリコの歴史シリーズ	10
トピックス 新製品のご紹介	11
会社の概要	15
株式の状況	16
株主メモ	17
株券電子化後の各種手続きについて	18

財務ハイライト | 連結

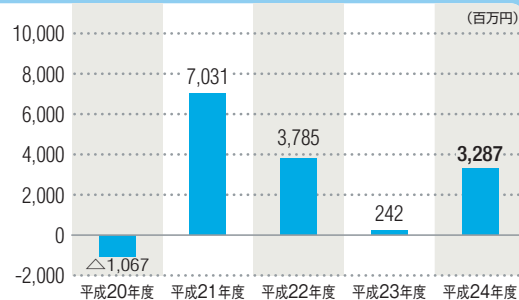
売上高



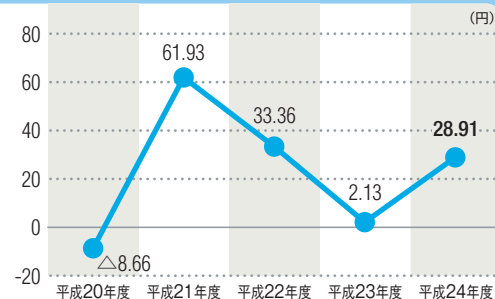
経常利益



当期純利益



1株当たり 当期純利益



株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社の第108期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、復興需要や政権交代後の政府主導による経済対策、金融政策等によって、景気は持ち直しの動きを見せてはいるものの、海外景気の下振れや金融資本市場の変動等の影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移いたしました。食品業界におきましても、原材料価格の高止まりや消費者の節約志向の浸透等によって、引き続き厳しい競争が続きました。

このような状況の中で、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品の売上拡大や新製品・系列品の発売を始めとして、百貨店等での専門ショップの開設、流通チャンネルに即応した販売促進対策、店頭での特売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、食品部門、食品原料部門は前連結会計年度を下回りましたが、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、畜産加工品部門が前連結会計年度を上回ったため、当連結会計年度の売上高は293,002百万円となり、前連結会計年度(289,980百万円)に比べ1.0%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、販売品種構成の変化

取締役社長

北崎 勝久



等によるアップはありましたが、牛乳・乳製品部門等の加工費率がダウンしたことにより、全体では僅かにダウンしました。販売費及び一般管理費では、広告宣伝費は減少しましたが、量販店店頭における積極的な販売対策の実施等により販売促進費が増加しました。その結果、営業利益は4,540百万円で、前連結会計年度(4,738百万円)に比べ197百万円の減益となりましたが、経常利益は円安による為替差益の計上等によって6,452百万円となり、前連結会計年度(5,252百万円)に比べ1,200百万円の増益となりました。

また、当連結会計年度は、牛乳・乳製品部門の事業構造改善費用や畜産加工品部門の固定資産減損損失等を特別損失に計上いたしました。その結果、当期純利益は3,287百万円となり、前連結会計年度(242百万円)に比べ3,044百万円の増益となりました。

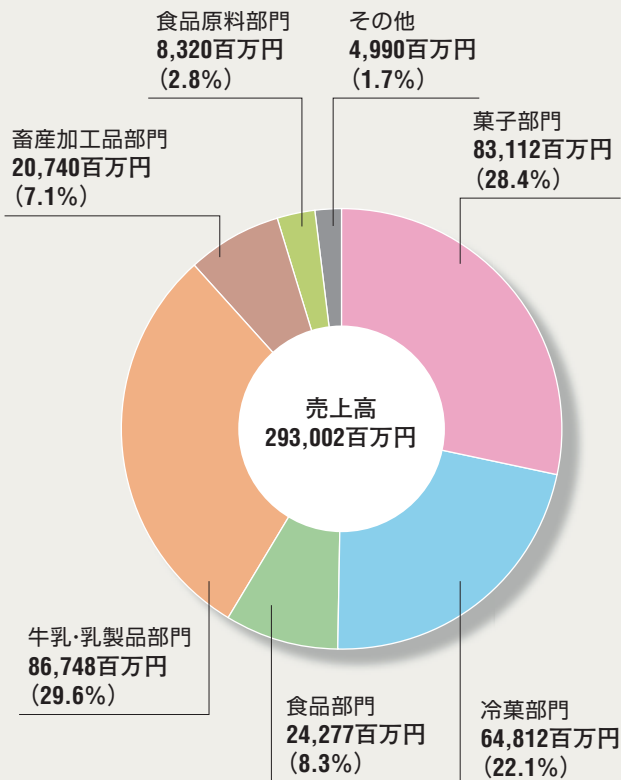
なお、配当金については、中間配当(1株につき5円)に加え、1株につき10円とさせていただきます。当社を取り巻く環境は益々厳しくなってきました。当社を挙げて業績の向上をはかり、株主の皆様のご期待におこたえする所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

セグメント別の概況 連結

●セグメント別売上高とその割合



菓子部門

83,112百万円

前年同期比1.9%の増収



国内では、“チーザ”、“キスミントガム”等は前連結会計年度を下回りましたが、“アーモンドピーク”等が前連結会計年度を上回り、新製品“ピッテ”や百貨店へ新規出店した“バトンドール”等が順調に売上を伸ばしました。また、海外では、洪水被害を受けたタイの子会社は前連結会計年度を下回りましたが、上海の子会社は前連結会計年度を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は83,112百万円となり、前連結会計年度(81,599百万円)に比べ1.9%の増収となりました。

冷凍部門

64,812百万円

前年同期比1.5%の増収



“牧場しぼり”、“パピコ”等は前連結会計年度を上回りましたが、“アイスの実”、“バリッテ”、商品回収を行った“ジャイアントコーン”等は前連結会計年度を下回りました。一方、卸売販売子会社2社は、前連結会計年度を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は64,812百万円となり、前連結会計年度(63,872百万円)に比べ1.5%の増収となりました。

※当社グループは、当期からセグメント別の区分を変更いたしました。

食品部門

24,277百万円
前年同期比6.5%の減収



“カレー職人”等は前連結会計年度を上回りましたが、“2段熟カレー”、“DONBURI亭”等は前連結会計年度を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は24,277百万円となり、前連結会計年度(25,964百万円)に比べ6.5%の減収となりました。

畜産加工品部門

20,740百万円
前年同期比2.3%の増収



主力のソーセージや麺類等は前連結会計年度を下回りましたが、ハム、ベーコン等は、前連結会計年度を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は20,740百万円となり、前連結会計年度(20,281百万円)に比べ2.3%の増収となりました。

牛乳・乳製品部門

86,748百万円
前年同期比1.8%の増収



“ドロリッチ”、“朝食りんごヨーグルト”等は前連結会計年度を下回りましたが、“朝食プロバイオティクスヨーグルト”、“カフェオレ”等は前連結会計年度を上回りました。また、キリンビバレッジ(株)からの業務受託による売上も前連結会計年度を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は86,748百万円となり、前連結会計年度(85,235百万円)に比べ1.8%の増収となりました。

食品原料部門

8,320百万円
前年同期比0.4%の減収



“米粉”、“A-グル”等が前連結会計年度を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は8,320百万円となり、前連結会計年度(8,350百万円)に比べ0.4%の減収となりました。

連結決算の状況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)		前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
[資産の部]			[負債の部]		
I 流動資産	93,502	95,749	I 流動負債	68,637	72,138
現金及び預金	16,598	17,889	支払手形及び買掛金	30,030	30,976
受取手形及び売掛金	34,230	33,921	短期借入金	9,050	9,950
有価証券	17,511	18,658	1年内返済予定の長期借入金	—	556
商品及び製品	7,951	9,057	未払費用	20,601	20,126
仕掛品	771	947	未払法人税等	965	1,039
原材料及び貯蔵品	10,701	9,819	販売促進引当金	1,537	1,544
前渡金	200	265	役員賞与引当金	51	44
前払費用	149	86	事業構造改善引当金	376	448
短期貸付金	161	100	その他	6,025	7,452
繰延税金資産	2,233	2,186	II 固定負債	31,300	30,877
その他	3,262	3,120	長期借入金	15,391	15,367
貸倒引当金	△272	△304	退職給付引当金	10,570	9,758
II 固定資産	113,790	123,613	事業構造改善引当金	620	105
(有形固定資産)	67,183	72,206	その他	4,718	5,646
建物及び構築物	24,557	23,513	負債合計	99,938	103,016
機械装置及び運搬具	22,353	26,333	[純資産の部]		
工具、器具及び備品	2,708	3,173	I 株主資本	107,473	109,211
土地	15,517	15,578	資本金	7,773	7,773
リース資産	328	529	資本剰余金	7,434	7,442
建設仮勘定	1,717	3,078	利益剰余金	118,886	120,469
(無形固定資産)	4,173	3,551	自己株式	△26,620	△26,474
ソフトウェア	3,742	3,006	II その他の包括利益累計額	△2,409	5,085
その他	430	544	その他有価証券評価差額金	△249	6,045
(投資その他の資産)	42,433	47,855	繰延ヘッジ損益	△204	△41
投資有価証券	32,473	39,548	為替換算調整勘定	△1,955	△919
長期貸付金	504	446	III 少数株主持分	2,291	2,050
長期前払費用	175	186	純資産合計	107,354	116,347
繰延税金資産	4,251	2,516	負債純資産合計	207,292	219,363
その他	5,157	5,374			
貸倒引当金	△130	△216			
資産合計	207,292	219,363			

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (23.4.1～24.3.31)	当連結会計年度 (24.4.1～25.3.31)
I 売上高	289,980	293,002
II 売上原価	166,664	168,151
売上総利益	123,315	124,851
III 販売費及び一般管理費	118,577	120,310
営業利益	4,738	4,540
IV 営業外収益	2,120	3,388
V 営業外費用	1,605	1,477
経常利益	5,252	6,452
VI 特別利益	645	531
VII 特別損失	1,220	1,956
税金等調整前当期純利益	4,677	5,027
法人税、住民税及び事業税	2,285	2,288
法人税等調整額	1,995	△214
少数株主損益調整前当期純利益	396	2,954
少数株主利益又は少数株主損失(△)	154	△332
当期純利益	242	3,287

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (23.4.1～24.3.31)	当連結会計年度 (24.4.1～25.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,236	14,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,907	△11,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,912	△1,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△230	905
現金及び現金同等物の増減額	4,010	2,967
現金及び現金同等物の期首残高	28,400	32,410
現金及び現金同等物の期末残高	32,410	35,378

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					その 他 の 包 括 利 益 累 計 額	少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 金 剰 余	利 益 剰 余	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計			
平成24年4月1日期首残高	7,773	7,434	118,886	△26,620	107,473	△2,409	2,291	107,354
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△1,704		△1,704			△1,704
当期純利益			3,287		3,287			3,287
自己株式の取得				△18	△18			△18
自己株式の処分		8		164	173			173
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					—	7,495	△240	7,254
連結会計年度中の変動額合計	—	8	1,582	146	1,738	7,495	△240	8,992
平成25年3月31日期末残高	7,773	7,442	120,469	△26,474	109,211	5,085	2,050	116,347

海外事業の実績と計画

グリコグループの重点課題のひとつである「海外事業の2013年3月期の実績と今後の計画をご紹介します。

2013年3月期の実績

2014年3月期の計画

中国

- 重点エリア（四川、重慶、河北、北京、天津）での取り組みが成果をあげ、国内では前年同期比120%の増販となりました。
- 計画外のタイ代替品の生産・販売も寄与し、増収増益を達成しました。



全土での販売を強化

- ブランド浸透度の高い上海・華東地区の売上を安定的に伸長させながら、相対的にシェアが低い華北・華南・華西地区の市場を深耕・拡大します。
- ポッキー、プリッツ、プジョイ、菜園小餅の販売を強化します。
- タイ代替品生産の終息などにより、営業利益は前年を下回る見込みです。

タイ

- 一昨年末の洪水からの復旧に全力で取り組み、ポッキー、プリッツ、コロシ、アルフィーと、主力製品の生産を順次再開しました。
- ポッキー中心にテレビCMやキャンペーンなどを集中的に行い、店頭での回転が、洪水前の水準にまで回復しました。



洪水被害からの完全復旧

- 全ての主力商品の生産を再開します。（本年3月にプジョイ、4月にカプリコの生産を再開）
- 「ポッキースターコンテスト」や「Get Stick Get Fun キャンペーン」など、スティック製品全体の盛り上げを図るキャンペーンを実施し、ポッキー、プリッツの売上を洪水前の水準にまで回復させます。

東南アジア

- 昨年9月に、業務提携先のキンダ社を通じて、ベトナムのホーチミンでポッキーの販売を開始しました。そして発売と同時に店頭での露出を高め、サンプリングを実施したほか、12月からはテレビCMの放映を開始しました。

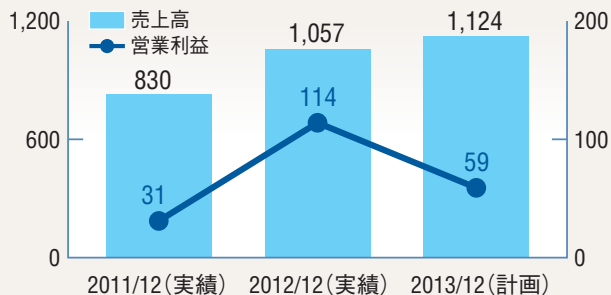


ポッキーとプリッツを本格展開

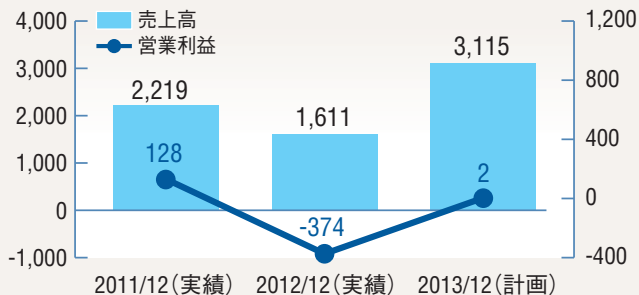
- ベトナムではテレビCMやサンプリングなどのマーケティング施策を実施し、市場を喚起します。
- 本年3月に駐在員事務所を設立したインドネシアでも、テレビCMの放映とあわせて店頭での露出を高め、売上の拡大を促進します。

拡大」について、

上海グリコ 売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



タイグリコ 売上高・営業利益推移 (単位:百万バーツ)



ホーチミンのトレンドスポットでのサンプリング



インドネシアでの店頭プロモーション

韓国でポッキーの 生産・販売を開始

グリコは2011年9月に、韓国で伝統のある菓子メーカー・ヘテ社と合弁会社「グリコヘテ」を設立し、ポッキーを現地生産するための準備を進めてきました。そして、本年6月にヘテ社の強力な販売網を通じ、韓国全土での販売を開始しました。

韓国の流通菓子市場の規模は、年間約3兆7,000億ウォン(約3,330億円:2012年)で、近年は年間7~8%の伸長を続けています。この有望な市場でグリコブランドの早期確立を図り、5年後の2018年度には、約500億ウォン(約45億円)の販売を目指します。

※1ウォン=0.09円として換算

■「グリコヘテ」で発売を開始したポッキー



グリコ公式フェイスブックページをオープン!

3月29日、グループ広報機能の強化の一環として、公式フェイスブックページを立ち上げました。グループ各社の商品や歴史、事業活動などをフェイスブックユーザーに発信し、グリコグループ全体のイメージ向上を目指してまいります。



<http://www.facebook.com/glico.jp>

ビスコ坊やがあなたの顔に！ オリジナルビスコが作れる「スマイルビスコ」

自分の好きな画像を使ってオリジナルパッケージのビスコが作れるウェブサイト「スマイルビスコ」がオープンしました。おかげさまでオープン以来ご好評をいただいております。現在のご注文から約2ヵ月後の出荷となっております。今年、80周年を迎えたビスコ。これからもご家族の皆様から愛されるやさしいビスケットとして、さらなる浸透と拡大を図ってまいります。



ビスコ坊やの顔と
商品名を、お好みの
画像と文字に！

「プッチンプリン」がギネス世界記録™に認定!

1972年の発売開始以来、長年にわたり皆様に愛され続けている「プッチンプリン」のシリーズ累計販売個数が51億個*を突破し、世界で最も売れているプリンとしてギネス世界記録に認定されました。いつの時代もお客様に驚きや楽しさを感じていただけるブランドとして、これからも日本中に笑顔を増やしていきたいと考えています。

※対象期間は、発売
開始から2012年
3月までの間

※ギネス世界記録™
はギネスワールド
レコーズの登録商
標です。



※最も売れている
プリンのブランド



「バトンドール」が大阪に2店同時オープン!

昨年10月、江崎グリコの新たなチャレンジであるデパ地下スイーツショップ「バトンドール」が、高島屋大阪店、阪急うめだ本店で同時オープンしました。フランス語で「黄金のスティック」を意味する「バトンドール」には、多くの方においしさや笑顔、ワクワクなどを「バトン」したいという意味も込めています。



高島屋大阪店



阪急うめだ本店

「ジャイアントコーン」誕生のひみつ

発売50周年を迎えたロングセラー商品「ジャイアントコーン」。
今年年間1億本以上を販売する国民的アイスも、発売当初は珍しい形のアイスとして見られていました。

パッケージのヒントはアメリカ製

1963年(昭和38年)、アイス市場に本格参入したばかりのグリコが、社運をかけて投入したのが「グリコーン」です。当時の日本では、カップアイスやバータイプのアイスが主流で、コーン型の商品は少なめ。アメリカ製の、ジェット機に似た形のアイスに感銘を受けて開発したパッケージは斬新でしたが、5円アイス全盛時代に20円と高く、なかなか売れませんでした。

巻き返しを図るため、おいしさを追求しながら安価な原料で増量を実施。湿りにくいセミ・シュガーコーンを開発し、1966年(昭和41年)に「ジャイアントコーン」として再デビューを果たすと、これが爆発的にヒットしました。



「ジャイアントコーン」(上)と
「グリコーン」(左)



野球チームと かぶらない名前に

「ジャイアントコーン」という現在の名前が生まれたのは1978年(昭和53年)。某プロ野球チームと関係があると誤解されることもあったため、「GIANT」を「ジャイアント」という読み方に変更しました。

その後、30年以上をかけて味や食感、商品ロゴやパッケージも進化を続けてきたジャイアントコーン。誕生当時から定番の「チョコナッツ」のほか、40種類以上のフレーバーを経て、現在に至ります。

こぼれ話

「ジャイアントカプリコ」とはどんな関係？

見た目や名前も似ている「ジャイアントカプリコ」。実は発売時の名称は「カプリコチョコレート」で、サイズを強調する現在の名前は増量時にできたもの。直接関係はありません。



菓子

菓子部門

チーズの濃厚な旨みのラインナップ

[チーザ]

〈カマンベールチーズ〉〈チェダーチーズ〉

[チーズ1.5倍のチーザ]

[クリームチーズ仕立てのチーザ]

グリコ独自のハイチーズ製法によってチーズを50%以上（焼菓子中 生換算）練りこんで焼き上げました。「まるでチーズをカリカリに焼いたような」濃厚なチーズの旨みをお楽しみいただけます。ビールやワインなどお酒との相性が良い、おつまみスナックです。



NEW



クリームをたっぷりのせて焼き上げた、 2層仕立てのスイートなプリッツ

[2層仕立てのプリッツ]

〈チョコ&バニラ〉〈アップル&カスタード〉

〈ココナッツ&レモン〉

プレッツェルの上に、クリームをたっぷりのせて焼き上げました。重なり合ったまろやかな甘さで、手軽にスイーツを食べた時のように少しくつろげる、2層仕立てのスイートプリッツです。サクサクとした食感で、夏でも手を汚さず、手軽につまめます。



期間
限定

ドウゾ! パピコでおともだち。

[パピコ]

〈チョココーヒー〉〈ホワイトサワー〉

通年販売の〈チョココーヒー〉に加え、今年も夏だけのおいしさの〈ホワイトサワー〉が登場。〈チョココーヒー〉は、カフェラテに生チョコをブレンドしたようなおいしさ。〈ホワイトサワー〉は、微細氷入りでシャリシャリとした食感と爽やかなおいしさをお楽しみいただけます。



期間限定



上質な味わいにこだわりました

[牧場しぼり]

〈白桃〉〈バニラ〉〈クッキー&クリーム〉 〈ミルク&ストロベリー〉

2003年にデビューした「牧場しぼり」は、生乳を主原料とした「濃厚なコクとすっきりとした後口」を手頃な価格で楽しめることが支持され、今年で発売10周年を迎えました。今夏、ミルクのコクと、白桃の豊かな味わいを楽しめる、夏季限定の〈白桃〉が新登場します。

期間限定



食 品

食品部門

2段熟カレーに 新しい夏季限定商品が登場!

【2段熟カレー】 〈夏のトマトカレー〉

トマトの酸味を活かした、すっきりとした爽やかな味わいなので、食欲の落ちる暑い夏でも美味しく食べられる、「2段熟カレー」の夏季限定商品です。具材として加えるトマトの量で、好みの味に調整できます。

期間
限定



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

おなかのビフィズス菌が よく増えるヨーグルト

【朝食プロバイオティクスヨーグルトBifiX】

生きて腸まで届き、おなかで増えるグリコ独自のビフィズス菌“BifiX（ビフィックス）”を使ったヨーグルトです。善玉菌の一つであるビフィズス菌は、摂取後に様々な要因で減ってしまいます。“BifiX”はおなかで増えるので、手軽に効率よくビフィズス菌を補えます。



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

クリーミーなデザートなのに、 100Kcal!

[とろ〜りクリームonプリン〈100Kcal〉90g]

従来の「とろ〜りクリームonプリン」のおいしさはそのままに、カロリーを約24%カット。1個あたり100Kcalを実現しました。カロリーが気になる方も、食後のデザートやおやつに気軽にお楽しみいただけます。



畜産加工品等

グリコハム株式会社

アンパンマンのかわいいイラストつき ウインナーが新登場!

[それいけ!アンパンマン こどもウインナー]

小さなお子さまも食べやすい、やさしい味付けのウインナー。塩分を25%カット^{※1}し、原材料に7大アレルゲンは使用していません^{※2}。ウインナーにアンパンマンのイラストが入っているので、きっとお子さまも大喜びです。

※1 五訂増補「日本食品標準成分表」(文部科学省)のウインナーのナトリウム値に対して。

※2 本品製造ラインでは、卵、乳、小麦を含む製品を生産しています。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

会社の概要

商 号 江崎グリコ株式会社
創立年月日 大正11年2月11日
資 本 金 7,773,681,654円
営 業 品 目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。
従 業 員 数 4,928名(連結)
本社所在地 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

主な事業所

- 本社
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話(06)6477-8352

●北海道・東北統括支店
〒981-0912
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号
電話(022)717-2821

●関東統括支店
〒370-0828
群馬県高崎市宮元町38番10号
電話(027)330-1914

●首都圏統括支店
〒108-0074
東京都港区高輪四丁目10番18号
電話(03)3798-0717
- 中部統括支店
〒461-0022
名古屋市東区東大曽根町22番28号
電話(052)919-0714

●近畿統括支店
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話(06)6477-8470

●中国・四国統括支店
〒732-0816
広島市南区比治山本町16番35号
電話(082)250-4111

●九州統括支店
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南一丁目10番4号
電話(092)474-0331

主な関係会社

仙台グリコ株式会社
茨城グリコ株式会社
グリコ千葉アイスクリーム株式会社
関東グリコ株式会社
三重グリコ株式会社
関西グリコ株式会社
神戸グリコ株式会社
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社
鳥取グリコ株式会社
九州グリコ株式会社
江栄情報システム株式会社
株式会社グリコ物流サービス
東北フローズン株式会社
関西フローズン株式会社
THAI GLICO CO., LTD.
EZAKI GLICO USA CORP.
上海江崎格力高食品有限公司
上海江崎格力高南奉食品有限公司
グリコ乳業株式会社
グリコハム株式会社
グリコ栄養食品株式会社
アイクレオ株式会社

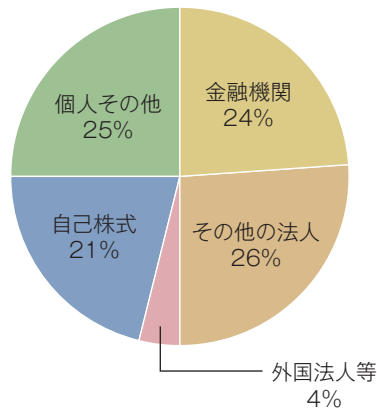
役員

代表取締役社長	江崎 勝久	取締役	益田 哲生	監査役(常勤)	芝池 正明
取締役	中川 宗和	取締役	加藤 隆俊	監査役	倉持 治夫
取締役	江崎 悦朗	取締役	梅崎 信彦	監査役	岩井 伸太郎
取締役	安積 正裕			監査役	宮本 又郎
取締役	栗木 隆				

株式の状況

会社が発行する株式の総数 470,000,000株
発行済株式総数 144,860,138株
株主数 14,802名

所有者別株式数比率

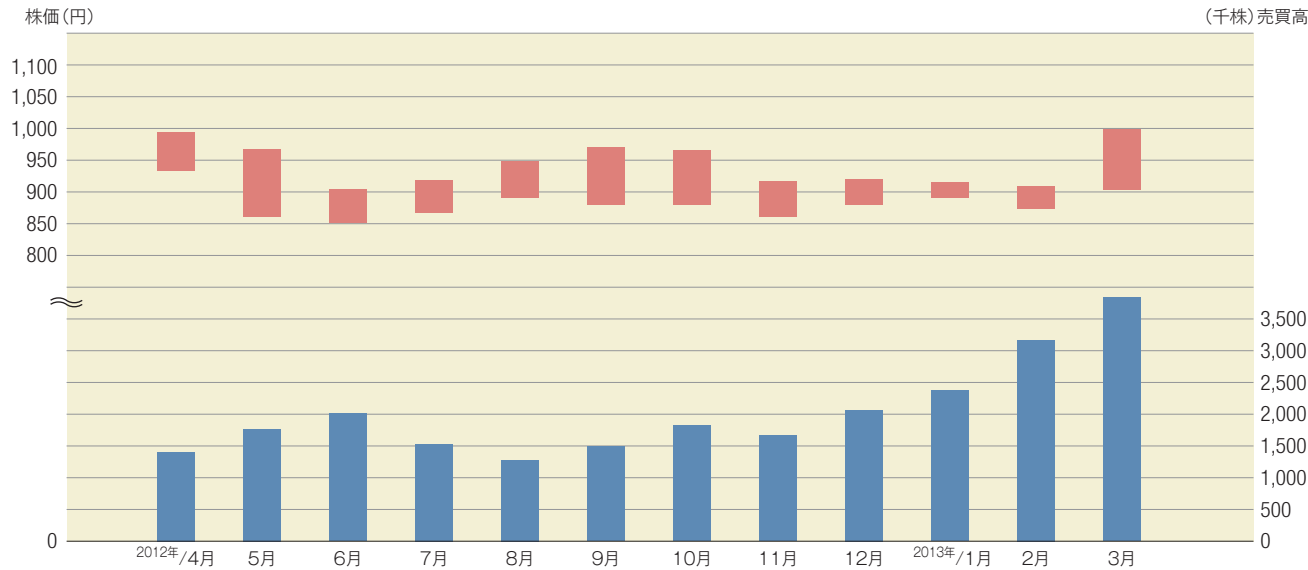


大株主

氏名又は名称	持株数(千株)
掬泉商事株式会社	8,263
大同生命保険株式会社	7,000
日清食品ホールディングス株式会社	7,000
江崎正道	6,421
佐賀県農業協同組合	5,887
大日本印刷株式会社	3,197
江崎グリコ共栄会	2,863
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)*	2,607
日本生命保険相互会社	2,342
三井住友海上火災保険株式会社	2,111

※信託型従業員持株会分の株式を含む

株価および株式売買高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便の場合

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

☎ 0120-782-031

※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となっております。

インターネット ホームページURL

[http://www.smtb.jp/personal/
agency/index.html](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<http://www.glico.co.jp>)

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

株主様 ご優待

1,000株以上ご所有の株主様に、つぎの要領で、当社製品の詰め合わせを贈呈させていただいております。

- 贈呈時期 6月末頃と12月中旬頃にお送りいたします。
- 贈呈基準 3月31日現在および9月30日現在の株主様へ

1,000～
1,999株



市価 約800円相当額製品

2,000～
9,999株



市価 約1,600円相当額製品

10,000株
以上



市価 約3,000円相当額製品

※写真は、詰め合わせ商品例

株券電子化後の各種手続きについて

2009年1月5日に株券電子化となりました。名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化後の単元未満株式の買取・買増のご請求については、いくつかご注意が必要です。

1 株式に関するお届出先 およびご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にご連絡ください。

お届け先・ご照会先

「ほふり」をご利用の
株主様

「ほふり」を
ご利用でない
(特別口座)の株主様

株主様の口座のある
証券会社

三井住友信託銀行株式会社

※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

2 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にお願いいたします。

3 1,000株に満たない株式の 買増・買取をご検討ください

1単元(1,000株)に満たない株式は、市場での売買ができませんが、当社で、お持ちの株式と併せて1,000株となるように株式をお売りする、もしくは1,000株未満の株式を買取らせていただくことができます。

その際のお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にご連絡ください。



江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.co.jp>